

12年間の取組

教育ビジョン

地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり

4年間の取組
(令和3～6年度)

3つの重点目標

12年間の飯田市の教育ビジョンと、教育振興の6つの方針、さらには取組の12の柱を踏まえて、令和3年度から令和6年度までの中期4年間に、重点的かつ組織横断的に取り組む「重点目標」を以下のように掲げます。

重点目標

1

“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む (いいだ未来デザイン2028 基本目標3)

アクションプログラム(いいだ未来デザイン2028戦略計画では小戦略に位置づく)

■ 学力保障・学力の向上

お互いを認め合い、安心して学べる学級づくりを目指し、子どもたちの学力の保障・向上と不登校対策のため、小中連携・一貫教育を進めます。また、コロナ禍への対応含め、全ての教育活動を通じてICTの活用を推進します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
全国学力・学習状況調査における小学校国語、算数、中学校国語、算数の全国平均との比較	小6国語○ 小6算数○ 中3国語△ 中3数学△	小6国語○ 小6算数○ 中3国語○ 中3数学○
自己肯定感(自分の良いところ)全国平均差	小-1、中-3	全国平均

*全国平均以下の状況。令和6年度までに全国平均を目指します。

■ 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援

日常生活における自他の尊厳を尊重する態度を育成し、互いを認め合える温かな人間関係づくりと個に寄り添った誰ひとり取り残さない教育や支援を推進します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
不登校在籍比	小 0.87% 中 3.91%	前年度以下

*不登校児童をなるべく増やさないよう前年度以下の在籍比を目指します。

■ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進

飯田コミュニティスクールを活かし、地域・学校・家庭がそれぞれ当事者意識を持って協働し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進めます。

■ 食育の推進

学校給食の地産地消、有機食材の導入拡大と、献立に地域の旬の食材や郷土食、行事食を取り入れる工夫に努めながら、学校給食を活用した食育に取り組みます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
飯田下伊那産野菜主要10品目使用率	54.1%	55.0%

*地場産物使用割合全国平均26.0%(H30)。現状も高いため現状維持を目指します。

■ 子どもの読書活動の推進

子どもが読書を楽しみ、感性や言葉を豊かにし、想像力、表現力や情報活用する力をつけられるよう、乳幼児期から発達段階に応じて読書体験の充実に取り組みます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
授業以外に1日10分以上読書をしている児童生徒割合(県:小6-69.0%、中3-57.1%)	小6-67.1% 中3-55.6%	県平均以上

*日常的に本に親しんでいる児童生徒の割合。

現状は全国平均以上ですが、全国平均より高い県平均以上を目指します。

■ 児童の放課後の居場所づくり

就労等で放課後保護者等が不在となる家庭の児童の居場所づくりのため、児童支援員の確保や適切な配置に努めるとともに、4年生以上高学年の受入希望にも対応できる組織・体制づくりを進めます。

■ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組

児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進んでいる中で、地域に根差した飯田らしい教育環境が展開され、将来にわたり子どもたちが主体的に学び合う場とするためには、どのような学校がよいのか、子どもたちの未来のため、みんな考えていきます。

■ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動対応

児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、通学路安全対策や環境整備を進めるとともに、気候変動に適應した校外活動に取り組みます。

重点目標

2

豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む (いいだ未来デザイン2028 基本目標4)

アクションプログラム(いいだ未来デザイン2028戦略計画では小戦略に位置づく)

■ 住民の主体的な学びあいの支援

住民の自治の力を高め、地域の担い手を育むため、住民の主体的な「地域の自然や文化などの地域資源を生かした学習や地域の課題解決に向けた学習」を支援します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合	69.2%	74.3%

*市民意識調査の数値です。前期の基準年(H27)数値を目指します。

■ 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開

LG(地域・地球)飯田教育の理念や地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習等を幼児期から高校まで体系立て、子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育み、多様な自己実現の可能性を広げます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
地域や社会を良くするために考えることがある割合(県:小57.0%、中43.9%)	小55.9% 中40.0% 高新規	県平均以上

*現状は全国平均以上ですが、全国平均より高い県平均以上を目指します。

重点目標

3

文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる (いいだ未来デザイン2028 基本目標5)

アクションプログラム(いいだ未来デザイン2028戦略計画では小戦略に位置づく)

■ 「人形劇のまちづくり」の推進

人形劇の公演・創造活動を楽しみ、その魅力を発信するとともに、「人形劇のまち」を改めて強くアピールし、国内外との交流を進めます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
市内で上演した人形劇公演数	498	500
人形劇で交流した国内外の交流数(回)	11	15

*コロナ禍の後に交流を再開し、現状を超えることを目指します。

■ 文化芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

多様な文化芸術の鑑賞機会や文化芸術活動の取組の充実を進めます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
文化活動を1回以上行っている人の割合	63.9%	65.0%

*コロナ禍で抑えられた活動が再開し、これまでの最高値(64.3%)を超えることを目指します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
社会教育団体(文化・芸術・芸能活動)申請登録会員延べ人数	7,692	8,000

*登録人数が減少傾向の中、3年前に登録の実績がある目標(R6)の値を超えることを目指します。

■ 新たな文化芸術活動の拠点づくり

飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。

■ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

市民の様々なスポーツ活動を支援し、発信するとともに、スポーツや運動習慣の定着と、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。また、飯田市の特徴を活かしたスポーツイベントを開催します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
成人の週1回以上スポーツに親しむ人の割合	48.2%	—
子どもの体力・運動能力調査におけるA・Bの割合(全国43.2%)	38.5%	全国値以上

*「スポーツ」自体の定義や、スポーツ文化の浸透度合いなど、市民意識調査の項目をR3に見直し予定。それに伴い、目標値も適切に設定。

*全国平均以下の状況。令和6年度までに全国平均を目指します。

■ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

トップアスリートの指導やプレーに触れる機会、スポーツ指導者の育成などを通じて、競技スポーツ人口を拡大し競技志向を高めます。また、地域でトップアスリートを育てることができる体制を目指します。

■ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実

全市型競技別スポーツスクールなど中学生期におけるスポーツの多様な選択肢を充実します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
全市型競技別スポーツスクールの種目数	13(R2)	16

*多種のスポーツに触れる環境として、スポーツ協会とともに種目数を増加させます。

■ スポーツ施設の整備、サービス向上

誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備やサービスを向上させます。

■ 社会教育施設の整備、サービス向上

誰もが安全で快適に利用できる社会教育施設の整備やサービスを向上させます。

第2次飯田市教育振興基本計画 中期4年間(R3～6)の取組(いいだ未来デザイン2028中期計画(R3～6)戦略計画)

重点目標 1 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む

(いいだ未来デザイン2028 基本目標3)

アクションプログラム③ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進			
事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の取組方針
(1)		「めざす子ども像」の実現に向け、地域・学校・家庭が学校運営協議会で課題を共有し、それぞれの役割を提案・相互承認し、連携して取り組みます。また、三者が取り組む「いいだCS協働活動」を支援するとともに地域に向けて発信し、横展開を図ります。	
(2)		家族と一緒に過ごすひと時を大切にする「わが家の結いタイム」の取組について、発達段階に応じた取組事例集の取りまとめと情報共有、企業への意識・啓発活動について研究します。	
飯田コミュニティスクール推進事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館が学校と地域とのコーディネート役を担い、関係団体の協力の下、地域で子どもを育てる体制が整ってきています。 ・幼児期から高校生期までを俯瞰し、系統立てて育む「子どもの姿」を地域全体で共有し、学校と共に子どもの成長を支えていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いいだCS協働活動推進事業」を推進し地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを進めます。 ・「めざす子ども像」実現のため、地域・家庭・学校がそれぞれの役割を提案・相互承認し、三者が一体的に取り組むとともに、年度末には三者で成果と課題を相互評価します。
わが家の結いタイム推進事業	生涯学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・取組みの4つの柱(あいさつ・会話・お手伝い・読書)を、発達段階に応じて重点化するための各地区・学校等における取組事例集を取りまとめました。 ・また、家族のふれあいの時間の重要性をさらに理解いただくため、企業に対し「結いタイム」の取組への働きかけ方法等について研究しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区・学校等における取組事例集を有効活用し、関係機関・団体等と情報共有することで、さらなる具体的な取組につなげていきます。 ・「結いタイム」の取組に関心を持つ企業を直接訪問し理解いただくことで、企業による具体的な取組を推進します。

アクションプログラム⑤ 子どもの読書活動の推進			
(1)		はじめまして絵本プレゼントやセカンドブックプレゼントなどにより、乳幼児期の読みきかせを通じた親子のふれあい体験や乳児が絵本や物語を楽しむ機会を増やします。	
(2)		小学生が本に関心を持ち自発的な読書が行えるよう支援し、読書習慣の定着を図ります。また図書館等を使って情報を収集し、選択・活用する力を、小中学校を通して段階的に育みます。	
(3)		高校生の読書活動推進のため、(仮称)飯田駅前プラザ内への図書館機能設置に向けて取り組みます。	

事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の方針
子ども読書活動推進事業	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめまして絵本事業」による7か月児家庭への絵本プレゼントに加え、4歳児(年中児)への絵本プレゼント「おともだち絵本」事業を開始、2月までにすべての4歳児家庭へ絵本を届けることができました。保育所への団体貸出の推進により、家庭への絵本の持ち帰りを行う園数も増え、親子のふれあいや絵本をたのしむ機会を増やすことができました。 ・小学生の自発的な読書に向けて、学年別図書リスト「よむリス」の3、4年生版を市図書館と学校図書館が共同で作成、家庭へ呼びかけ、学校、分館等でも活用を始めています。 ・高校生が読書に親しむ場となるよう(仮称)飯田駅前プラザ内への図書館設置に向けて準備を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめまして絵本」「おともだち絵本」事業の継続と、アンケートを実施し絵本プレゼントの検証を行います。 ・小学生の自発的な読書に向けて、5年生向け「よむリス」を作成し配布、活用に取り組みます。 ・(仮称)飯田駅前プラザ内に図書館を設置し、高校生の読書や探求学習などを支援します。 ・地域読書推進係を新設し、分館と学校・保育所の連携等、地区の読書推進に取り組みます。

重点目標 2 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む
(いいだ未来デザイン2028 基本目標4)

アクションプログラム① 住民の主体的な学びあいの支援			
(1)	飯田市民大学、天龍峡夏期大学、地域史研究集会、読書会、公民館各種講座など市民の主体的な運営による多様な学び場や、地域課題解決を目指す学習活動の支援を行います。		
(2)	多様な価値観を認め合う社会を実現するため多文化共生を進める活動や平和学習、人権教育を推進します。		
事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の方針
文化財保護事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に飯田市有形文化財に指定した「立石寺木造天部形立像」について、説明用の資料作成等を協力し、立石寺檀家の皆さんによる見学会を開催していただきました。 ・座光寺史学会による所蔵資料の整理に際し、土器の見方や整理方法等についての勉強会に協力しました。 ・座光寺公民館が主催する「火起こし体験」や「地域づくりフォーラム関連事業」に参加し、協力しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き出前講座等を通じ、地域の自主的な学習活動支援に取り組めます。
多様な学習交流活動	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制約を余儀なくされた活動もありましたが、コロナ禍だからこそ“集う”ことを大切に、“コロナ禍でもできる工夫”をしながら各種活動に取り組み、withコロナ時代の公民館活動の足掛かりとなりました。 ・前年同様といかない中で、事業を継続するための議論が各専門委員会で行われており、委員の力量形成に繋がりました。 ・コロナの影響により、地域への帰属意識や人間関係の希薄化が更に顕在化してきており、交流と学びを進める必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を把握し、解決に向けた学習を行います。 ・芸術文化や伝統文化への理解や、ふるさと学習、健康学習、環境学習など、地域を中心とした住民主体の学習を支援します。 ・(仮称)飯田駅前プラザへの移転を契機に、高校生などの若者や外国籍の方との交流・学習活動の充実を図ります。

歴史研究所事業	歴史研究所	・地域史研究集会やワークショップの開催により地域の課題や歴史を学ぶ機会としました。 ・学びが市民の主体的な活動で成り立つ人材の育成が必要です。	・市民や地域の学びが次代に繋がる視点をもって事業を展開します。
図書館事業	中央図書館	・実行委員会による読書会交流会を開催し、情報共有や交流により、地域の読書会活動を考えました。読書会の減少もある中で、読書や学びを深めたり広げたりする読書会活動を支援する必要があります。	・地域で読書会活動が広がるよう魅力発信や交流の機会をつくり、活動を支援します。
図書購入・提供事業	中央図書館	・コロナ禍においても感染対策を取りながら開館を行い、資料提供により読書や課題解決のための学びの支援を行いました。	・引き続き関係部署の講座等へ資料提供を行うなど、主体的な学びを支援します。
美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	・地域の自然や歴史文化の魅力を学ぶ各種講座の開催や展示と連動した講座の開催により地域の魅力を深く理解できる機会としました。	・調査研究の成果を市民ボランティアなどとの協働により学びの機会に繋がります。
平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	・満蒙開拓平和記念館を活用した市内小中学校の平和学習に8校730人(R2:7校418人)の児童・生徒が参加し、満蒙開拓の史実から平和の大切さを学びました。 ・(仮称)飯田駅前プラザへの飯田市平和祈念館開館に向け、展示資料の作成や戦争遺品の整理を行いました。また、平和祈念館開館後に開講する高校生・若者を対象とした平和・人権・多文化学習講座の企画検討会議を立ち上げ、講座内容の検討を行いました。 ・コロナ禍における偏見や差別、誹謗中傷への対応は引き続き重要な課題としてその取組みが求められます。	・引き続き、満蒙開拓平和記念館を活用した平和学習を推進するとともに、(仮称)飯田駅前プラザに飯田市平和祈念館を開館し、市内小中学校の平和学習へのさらなる支援や、高校生・若者を対象とした平和・人権・多文化学習講座を新たに開講し、平和の尊さを次世代へ繋いでいきます。 ・また、各地区公民館等で開催する平和・人権・多文化学習を引き続き支援します。

アクションプログラム② 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開			
(1)	豊かな自然環境や地域資源を生かした飯田型キャリア教育をESD(持続可能な社会づくりのための教育)の理念で整理し体系化して進めます。		
(2)	各高校の実情を踏まえ、高校生の地域人教育を展開するとともに高校生の学びに小中学生が関わる機会を検討していきます。 また、学輪IIDAのフィールドスタディに参加する高校生の地域での学びを支援します。		
(3)	幼児期から高校まで、地域社会と学校教育が連携した取組みについて整理し、必要な連携を強化し、一貫した人材育成がなされるよう展開します。		
事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の取組方針
乳幼児親子学習交流支援事業	飯田市公民館	・各地区において乳幼児学級を開催し、親同士の交流や子どもの様々な体験の機会となりました。特に、父親の参加機会を設けるようにし、子どもとの触れ合い、育児への理解に繋がりました。 ・親の早期の職場復帰など、社会環境の変化により講座への参加が減少傾向にあります。	・各地区において乳幼児学級を開催します。父親の参加機会をさらに拡充していきます。

高校生等次世代育成事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田OIDE長姫高校商業科の地域人教育により、高校生に地域の特徴や課題を捉える力や実践する力を養うことができました。また、飯田風越高校の(仮称)飯田駅前プラザの活用に関する学習を支援し、探求学習の実践に結び付けました。 ・高校の新学習指導要領には探求学習の実現が求められており、高校の実状に応じた高校生の豊かな学びを支援していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)飯田駅前プラザの立地を生かし、プラザを高校生の活動の拠点とし、高校生を主体とした学習活動に取り組みます。 ・地域人教育など、高校の実状に応じた探求学習を支援します。 ・次世代育成の観点から、高校生をはじめ若者に対する地域学習を行います。
飯田コミュニティスクール推進事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館が学校と地域とのコーディネート役を担い、関係団体の協力の下、地域で子どもを育てる体制が整ってきています。 ・幼児期から高校生期までを俯瞰し、系統立てて育て「子どもの姿」を地域全体で共有し、学校と共に子どもの成長を支えていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いいだCS協働活動推進事業」を推進し地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを進めます。 ・「めざす子ども像」実現のため、地域・家庭・学校がそれぞれの役割を提案・相互承認し、三者が一体的に取り組むとともに、年度末には三者で成果と課題を相互評価します。
地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から高校まで一貫した地域人育成が展開できるための研究・検討を行いました。まずは教育委員会における連携の強化、さらには市内関係各課との横断的な組織の構築が必要となります。 ・飯田の学びの総合情報サイト「結いなびIIDA」が10月から本格運用となりました。市民の学習活動に広く活用されるよう、行政や社会教育関係団体等へ積極的な活用の促進及びサポートすることで、コンテンツのさらなる充実を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力を育てていくため、飯田型キャリア教育を軸として、幼児期から高校まで「発達段階に応じた切れ目のない学び」となるよう体系立てを行い、関係機関・団体等と連携して地育力を活用した地域人育成を推進します。 ・「結いなびIIDA」が小中学校の総合学習や一研究、また高校の探求学習に活用できるよう、そのコンテンツを充実するとともに、行事・イベント等の申込機能を新たに加えるなど、サイトの有効活用を図ります。

アクションプログラム③ 飯田の価値と魅力の学びと発信	
(1)	地域の自然と文化や先人の営みなどを明らかにする学術研究を学輪IIDA等の地域外の知見も活用しながら進めます。また、様々な技術を活用し魅力ある展示や講座により研究成果を地域に還元するとともに、SNSなど活用しながら飯田の魅力として発信します。
(2)	歴史研究所、美術博物館、図書館、公民館等の関係機関が連携して、研究成果の出前講座を実施するとともに市民の地域史等の研究活動を支援します。また、小中高などへの研究成果の出前講座を通じて、飯田の価値と魅力を伝えます。
(3)	上郷考古博物館を「展示(ガイダンス)」、「調査研究」、「市民活動支援」の3つの機能を統合させた文化財保護活用の中核拠点として活用します。
(3)	学輪IIDA等の飯田に集まる多様な地域外の知と、地域に蓄積されている知を、市民や研究者が学び合え、交流できる機会を創出します。

事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の取組方針
文化財保護事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市上郷考古博物館について、考古博物館活用基本方針を策定しました。今後は、展示替え等に向けた具体的な取組みが課題となります。 ・学びあい講座「城下町飯田の成り立ちについてオモシロイところを紹介します」を関係機関と連携して企画しました(感染症対策の関係で次年度に延期になりました)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考古博物館活用基本方針に基づく取組みを進めます。 ・R3で中止となった「学びあい講座」を開催できるよう、関係機関と調整して取組みを進めます。

埋蔵文化財調査事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・民間開発及び市道付替えに伴う黒田大明神原B遺跡の発掘調査に際し、調査中に上郷・座光寺小学校5・6年生希望者対象に「はっくつ体験教室」を開催しました。 ・現地見学会を開催し、約120名の市民の参加がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度予定されている調査についても発掘体験や見学会等を実施し、遺跡の価値や魅力を広く伝えます。
飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市上郷考古博物館の展示について、飯田古墳群に関する展示を充実させ、その魅力をわかりやすく表現しました。 ・飯田古墳群を構成する「大塚古墳」の調査を実施し、周溝の範囲を明らかにしました。 ・飯田古墳群を将来的に保存継承していくうえで、石室の保全が課題となる古墳が増えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に博物館の展示の中心となるよう、古墳より出土した短甲の保存処理を進めます。 ・調査を実施した「姫塚古墳」、「大塚古墳」について、その成果をまとめた報告書を作成します。
恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市上郷考古博物館の展示について、史跡恒川官衙遺跡に関する展示を充実させ、その魅力をわかりやすく表現しました。 ・正倉院内での調査を継続的に進めており、関連する遺構の有無を確認しました。 ・次年度の調査が史跡指定地内での最終年度となり、効率的な調査活動の実施が課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡指定地内での調査の最終年度であり、計画的な調査を実施します。 ・史跡公園整備に向け、調査成果をまとめていきます。
多様な学習交流活動	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制約を余儀なくされた活動もありましたが、コロナ禍だからこそ“集う”ことを大切に、“コロナ禍でもできる工夫”をしながら各種活動に取り組み、withコロナ時代の公民館活動の足掛かりとなりました。 ・前年同様といかない中で、事業を継続するための議論が各専門委員会で行われており、委員の力量形成に繋がりました。 ・コロナの影響により、地域への帰属意識や人間関係の希薄化が更に顕在化してきており、交流と学びを進める必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を把握し、解決に向けた学習を行います。 ・芸術文化や伝統文化への理解や、ふるさと学習、健康学習、環境学習など、地域を中心とした住民主体の学習を支援します。 ・(仮称)飯田駅前プラザへの移転を契機に、高校生などの若者や外国籍の方との交流・学習活動の充実を図ります。
歴史研究所事業	歴史研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・高校や公民館等と連携した出前講座等の実施や市民協働ワークショップの開催により市民や地域の学びを支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や地域の学びが次代に繋がる視点をもって事業を展開します。
図書館事業	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・地名講座は開催できませんでしたが、伊那谷地名研究会の協力により研究成果や資料を館内展示し来館者へ提供しました。コロナ禍においても、地域について興味・関心を持ち学ぶ機会の提供が必要です。 ・鼎地区の中学生と大人と一緒に、郷土資料を活用して地域に関する事柄を調査し発表を行い、世代を超えて交流すると共に地域への意識を高めることに繋がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス等により地域を学ぶ人や研究者を支援すると共に、講座等では参加者の学びにつながる内容を計画します。 ・引き続き図書館ホームページ内「飯田の情報いいだの資料」へ郷土資料情報を掲載し発信します。
美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・展示と連動した作文コンクールや鑑賞学習など学校と連携した事業を実施しました。 ・地域や公民館等と連携して出前講座を実施し調査研究の成果を還元しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や文化の魅力を伝える教育普及や研究者、地域活動を支援します。

美術博物館展示公開事業	美術博物館	・菱田春草没後110年特別展をはじめ地域の自然や文化芸術、歴史などこれまでの調査研究の成果を展示公開しました。 ・調査研究の成果を効果的に展示し地域の魅力を発信する必要があります。	・調査研究の成果を活かし、時機に照らしたテーマを設定した展示を行い地域の魅力を発信します。
美術博物館プラネタリウム運営事業	美術博物館	・幼保、小中学校の学習来館を積極的に受け入れオリジナル番組を活用して地域の魅力を発信しました。	・学習来館の計画段階から関わりを持ち、天文教育と地域の魅力を発信していきます。

アクションプログラム④ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

- (1) 地域にある文化財の魅力や価値を市民が学ぶ活動を支援するとともに、誇るべきものとして継承し活用する活動を支援します。また、活用について点から線、線から面への展開ができるよう取り組みます。
- (2) 南信州民俗芸能継承推進協議会との協働連携や各保存会への活動支援を通じて、遠山霜月祭、伝統人形芝居、獅子舞などの魅力発信と後継者育成に努めます。また、遠山の霜月祭のユネスコ無形文化遺産登録に向けた市民の取り組みを支援します。
- (3) 名勝天龍峡・恒川官衙史跡公園整備事業を通じた「2000年浪漫の郷」づくり・史跡飯田古墳群の活用において、学習会や体験ツアーを開催するとともに、市民ガイドなど市民自ら発信できるよう取り組みます。
- (4) 北田遺跡公園の縄文時代復元住居の改修を地域と協働して取り組みます。

事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の取組方針
文化財保護事業	文化財保護活用課	・地域と協働して取り組んでいる北田遺跡公園の復元家屋改修に向け、上久堅地区の皆さんと発掘中の遺跡で実物の住居跡をテーマに学習会を行いました。 ・霜月祭のユネスコ無形文化遺産登録に向け、地域の保存会2団体と共に全国神楽継承・振興協議会に参加しました。また、国立劇場HPデジタルライブラリーへ写真資料の提供を行いました。 ・名勝天龍峡の魅力を学ぶ「名勝天龍峡の魅力再発見-自然花木編」を開催し、地域の方々にあらためて天龍峡の良さを知ってもらえました。	・引続き地域の皆さんが文化財を学ぶ活動を支援するとともに、保存継承活動への支援に取り組みます。
恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	・公園の植栽計画や植栽の親子作業、石碑に刻む題字の公募を通じて、地域や住民が参加し公園整備に対する関心を高めることができました。 ・四阿は、飯田技術専門校の実習により制作し人材育成を図ると共に、地域産材の使用(林務課事業)により整備コストの削減を図りました。 ・県内外からの見学者(80名)に対し、市民ガイドと協働して遺跡を案内し、学習活動の支援に努めました。	・2000年浪漫の郷委員会と連携、協働し、ガイドンス施設の基本設計に取り組みます。 ・地域と連携、協働し、ガイド育成や学習活動等の支援に取り組みます。
飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	・小学校の社会見学の中で、古墳について、現地と博物館でその価値や魅力を子どもたちに伝えました。	・古墳に関心がある人は県内外に多くおり、古墳を活用した取組みを進めていきます。

多様な学習交流活動	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制約を余儀なくされた活動もありましたが、コロナ禍だからこそ“集う”ことを大切にし、“コロナ禍でもできる工夫”をしながら各種活動に取り組み、withコロナ時代の公民館活動の足掛かりとなりました。 ・コロナの影響により、地域への帰属意識や人間関係の希薄化が更に顕在化してきており、交流と学びを進める必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化や伝統文化への理解や、ふるさと学習、健康学習、環境学習など、地域を中心とした住民主体の学習を支援します。
人形劇のまちづくり事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第39回伊那人形芝居公演を、コロナ禍のため無観客により開催し、互いの芝居の観劇と公演の様子をケーブルテレビで収録と放映により、多くの市民に視聴してもらい広く活動をPRしました。 ・オンラインにより、南あわじ市等の人形浄瑠璃後継者団体の交流会(第3回)に、竜峡中学校、高陵中学校、飯田女子高校の生徒が参加し、学校団体どうしの交流を行いました。 ・コロナ禍のため講師(師匠)に来飯していただく機会が作れないため、研修会の開催ができていないことが課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那人形芝居保存協議会と連携し、各保存会での研修会や公演活動への支援や、南あわじ市等の人形浄瑠璃後継者団体との交流会による後継者育成に努めます。
美術博物館資料調査研究・収集保管事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や歴史文化の魅力を学ぶ各種講座の開催や展示と連動した講座の開催により地域の魅力を深く理解できる機会としました。(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究の成果を市民ボランティアなどとの協働により学びの機会に繋がります。(再掲)
上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な展示更新ができる展示構成とすると共に、美術博物館の巡回展示を行いました。 ・他の施設や団体等との連携による多目的な利用により地域活性化に繋げることが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な展示や講座の開催により地域の自然や文化の魅力を発信します。 ・施設の多目的な活用を図ります。
南信濃民芸等関係施設管理運営事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・美術博物館の巡回展示や各種講座の開催内容を地区内に情報発信を行いました。 ・他の施設や団体等との連携による多目的な利用により地域活性化に繋げることが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な展示や講座の開催により地域の自然や文化の魅力を発信します。 ・施設の多目的な活用を図ります。

アクションプログラム⑤ 社会教育施設の整備、サービス向上	
(1)	地域コミュニティの拠点である公民館や、美術博物館、図書館など社会教育施設の計画的な改修・整備を進めます。
(2)	公民館、文化会館のオンライン予約システムへの移行を進めます。
(3)	飯田市公民館の(仮称)飯田駅前プラザ移転について市民の皆さんの意見を聞きながら進めるとともに橋南公民館の地域交流センター(りんご庁舎)への移転に向けて調整を図ります。

事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の実施方針
文化財保護事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・考古博物館について、国庫補助金を活用し、洗面所の自動水栓化等の感染症対策を実施しました。 ・小笠原資料館の屋根と大手橋及び橋梁の改修、上郷歴史民俗資料館の屋根修繕を行い、施設の維持に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会施設等総合管理計画に基づき、所管施設の維持管理に努めてまいります。
公民館維持管理事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・施設予約システムの構築に向け、システム選定のためのプロポーザルを実施し運用に向けた取り組みを進めました。 ・地元の住民や市民ワーキングと協議を行いながら、飯田市公民館及び橋南公民館の移転の準備を進めました。 ・コロナ感染拡大防止のため、館内消毒の徹底、施設の休館などに対応しました。 ・施設設備の法定検査や日常的な点検を行い必要な箇所は迅速に修繕しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移転する橋南公民館及び飯田市公民館の適切な管理運営を行います。 ・施設予約システムの稼働に向けた取り組みを行います。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行いながら、適切な公民館の管理業務を行います。
公民館改修事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における活動を支援するため、各公民館にフリーWi-Fiを整備しました。 ・橋南公民館のりんご庁舎への移転事業を進め、児童クラブ、子育て支援課を合わせた複合施設として整備しました。 ・高齢者にも使い易い施設となるよう羽場、東野公民館のトイレを洋式化しました。 ・公民館の大会議室等のLED化を進めました。 ・空調設備が整っていない公民館の整備を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の著しい公民館について、専門家による施設改修設計委託業務を行い必要な改修費用を算定します。 ・飯田市公民館の解体にかかる設計を実施します。 ・施設管理計画に基づき、屋根外壁の改修など計画的な改修や環境整備を進めます。
図書館管理運営事業	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館1階照明のLED化、空調設備の一部修繕など実施しましたが、経年劣化による施設設備の故障が増加しています。 ・旧鼎図書館施設の解体工事を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会施設総合管理計画に基づき、エレベーターの更新、東側外壁改修等、緊急度の高い部分から修繕等を行います。
美術博物館管理事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等総合管理計画に則り受電設備の改修や空調設備の整備を行いました。 ・施設の長寿命化と来館者の安心安全を図るため計画的な施設の改修整備が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設の改修整備を進めます。
文化会館等管理運営事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・躯体の耐震工事及びトイレの洋式化を7か所行いました。 ・オンライン予約システムへの移行を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化を5か所予定しています。 ・オンライン予約システムの10月運用開始を予定しています。

重点目標 3 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

(いいだ未来デザイン2028 基本目標5)

アクションプログラム① 「人形劇のまちづくり」の推進			
(1)	みんなが仲間として参加できるいいだ人形劇フェスタの開催に向けた支援をします。		
(2)	市民が年間を通じて人形劇を観劇したり、竹田・川本の人形を鑑賞や体験で楽しめる機会を提供します。		
(3)	学校・保育園等で行われる人形劇活動や市民が演じることを楽しむ創造活動を支援します。		
(4)	AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)の情報発信や、シャルルヴィル・メジェール市など人形劇でつながる都市市民が交流する機会づくりをオンラインツールの活用で支援し、その取組を広く発信していきます。		
(5)	伝承される人形浄瑠璃を保存、継承するための活動を支援します。		
事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の取組方針
人形劇のまちづくり事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月5日～8日の4日間で開催されたいいだ人形劇フェスタ2021は、コロナ禍のため急遽、上演する劇団、観客ともに長野県内の方に限ったフェスタとなりました。飯伊地域以外の劇団や観劇者には、簡易検査キットによる検査等の感染対策を行い、55の劇団による112公演を延べ5,290人に観劇していただきました。 ・いいだ人形劇センターとの共催事業である公演事業は、コロナによる中止した事業もありましたが、4回の定期公演や人魚姫公演のアウトリーチ、クリスマス会公演等開催し、生の人形劇を市民に観劇していただきました。 ・子ども達に、人形劇をより身近に感じてもらうため、幼稚園や小学校への巡回公演を実施しました。(24園・学校) ・引き続き、コロナ禍を想定しながら、より安心して人形劇に触れてもらえるような事業実施方法の検討が課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いいだ人形劇フェスタ2022では、「みんなの笑顔 まつとるに！」をテーマに、再び全国から笑顔の集まるフェスタを目指した開催に向け、実行委員会を支援し共に取り組みます。 ・年間を通し人形劇を観劇できるよう、幼稚園や小学校への巡回公演やいいだ人形劇センターと共催による公演事業や創造事業を実施します。また、教育現場での、人形劇の観劇や人形劇制作のための講師派遣を行い、創造力の育成に取り組みます。
竹田人形館管理運営事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、8月20日～9月12日及び令和4年1月11日～2月10日まで臨時休館となりました。 ・9月には、約2年ぶりに館内の人形展示替えを行うことができました。 ・コロナの影響により、多くの学校が校外学習の場として利用を予定していただいていたがキャンセルとなってしまいました。来館できた学校の生徒には、伝統糸操り人形を観て・触れる機会を提供できました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、隣接する元善光寺の御開帳の年となるため、多くの来館者が期待されます。元善光寺や、近隣宿泊施設での出前公演を行いながら人形館をPRしていきます。 ・いいだ人形劇フェスタ2022と共催し、受け継がれていく「伝統人形芝居」として、糸操り人形の魅力を広く発信していきます。

川本人形美術館管理運営事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、8月20日～9月12日及び令和4年1月11日～2月14日まで臨時休館となりました。 ・そのような中でも、7月には企画展(夢見る真夏のくるみ割り人形展)や10月には、約2年ぶりの展示替えを行い、3月にも小規模な展示替えを予定しています。また、ブログやSNSの更新頻度を上げ活用したことにより、アクセス数も毎月増え多くの方に関心を寄せていただけています。 ・市内の小中学生を対象にした体験型プログラムによる、人形の鑑賞や創造活動の場として活用してもらえるよう働きかけ、2校3クラスに来館していただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開館15周年を記念した取り組みを通して県内外からの誘客に取り組みます。 企画展として、オープン時以来となる川本喜八郎のアニメーション作家としての側面を掘り下げる企画展の開催や人形劇に関する企画展の開催、コマ撮りアニメーションコーナーなどを設置し、アニメーションの体験や身近に感じられる工夫により川本喜八郎の魅力を伝えていきます。 ・令和3年度に引き続き、小中学生を対象にした体験型プログラムによる、人形の鑑賞や創造活動の場として活用してもらえるよう働きかけます。
---------------	------	--	--

アクションプログラム② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援	
(1)	「菱田春草」没後110年を記念し作品の魅力を紹介します。
(2)	あらゆる年代の市民が多様な舞台芸術を鑑賞する機会を設けます。
(3)	市民が取り組む舞台芸術の創造活動を支援します。
(4)	オーケストラと友に音楽祭、伊那谷文化芸術祭など市民が舞台芸術を鑑賞し、自ら発表できる機会を支援します。

事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の見込み
美術博物館展示公開事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・菱田春草没後110年特別展を開催し春草作品の魅力を多くの方に紹介しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春草をはじめとした地域ゆかりの作家の作品を継続的に紹介すると共に地元作家の創作活動を支援します。
文化会館文化芸術事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術の鑑賞・発表は、募集から実施まで相応の期間が必要となることから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止する事業もありましたが、「にこにこステージ」「コンサート ア・ラ・カルト」「名フィル・オーケストラ・セレクション」等を実施することができました。 ・舞台芸術創造支援事業については、事業内容の見直しを行い、来年度以降審査会設置の有無も含めて再検討することにしました。 ・感染対策等を行うことで、コロナ禍においても実施できることだけでも実施し、事業に取り組んでいくことが求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施にあたっては、感染対策を行うことが前提条件になりますが、国・県・市の方針や今までの知見を活かした対策方針に沿って、舞台芸術の鑑賞・発表事業を行っていきます。

アクションプログラム③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり			
(1) 新文化会館の建て替えは、「十分な駐車場を確保できる」ことを前提条件として、交通アクセス、周辺環境などを踏まえて、建設適地の検討を進めます。			
事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の実行方針
文化会館等管理運営事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・新文化会館の整備に向けた検討会議の準備を進め、文化会館に関するアンケート調査を実施しました。 ・新文化会館の整備計画づくりに広く市民の意見をお聞きすることが求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新文化会館の整備に向け、市民参加による検討会議やワークショップを開催し構想・計画づくりを進めます。 ・新文化会館整備に向けて、専門家の意見をお聞きします。

アクションプログラム④ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催			
(1) スポーツ推進委員と公民館が核となり、コミュニティスポーツの推進やサークル活動等の育成を進めます。			
(2) 保育園・幼稚園等でのコーディネーショントレーニングや学校での一校一運動に取り組みます。また、高齢者がいきいきと安全に過ごせるための運動・スポーツの機会を拡充します。			
(3) 多くの市民が参加できる飯田やまびこマーチや風越登山マラソンの開催に取り組みます。			
事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の実行方針
市民スポーツ推進事業	生涯学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市スポーツ推進委員が中心となり、障がい者を含めた誰もができるニュースポーツのポッチャの普及を今年度の取組みとして位置づけ、フェスティバルを11/21に実施するとともに、各地区においても公民館と連携し講習会や大会等を実施しました。 ・運動好きの子どもを育てる基礎となる幼児期の運動プログラムとして、コーディネーショントレーニングを4保育園で実施しました。園児から学童への継続的な取組みと指導者の育成が課題です。 ・4/26に地元参加者に限定して飯田やまびこマーチを実施し、コロナ禍でのスポーツ機会を提供しました。風越登山マラソン大会は中止となりましたが、日常的な運動習慣を促す「写真を撮らまいか」企画により、市民へのスポーツ機会の提供と風越山への関心を高めました。コロナ禍における安心・安全に配慮した大会運営が課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の運動習慣の定着に向けて、スポーツ推進委員と連携したウォーキング、多世代が交流できるポッチャ等のニュースポーツの普及に取り組めます。また、多くの市民が参加できる安心・安全に配慮したやまびこマーチや風越登山マラソン大会を開催します。 ・運動好きの子どもを育み、子どもの体力・運動能力向上をめざすため、園児や保護者を対象としたコーディネーショントレーニング教室を引き続き実施するとともに、学校での一校一運動に取り組めます。

アクションプログラム⑤ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

- (1) スポーツ教室を始めとしたトップアスリートとの交流の場など、飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携し、競技スポーツへの関心を高める取り組みを進めます。
- (2) 飯田市スポーツ協会と連携し、競技者の将来を見据えた指導ができる指導者の育成を進めます。

事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の取組方針
競技力向上支援事業	生涯学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・競技力向上や競技人口の拡大をめざす飯田市スポーツ協会の各競技団体が開催する教室や講習会、指導者育成のための研修会等の活動を支援しました。 ・野球やバスケットボール、サッカー競技等民間スポーツクラブが実施する教室や試合観戦を支援し、市民が一流選手のプレーに触れる機会を提供しました。 ・全国や県の大会に出場する選手の活躍を市長表敬等を通じて激励するとともに、ホームページや報道により広く市民に発信することで、市民のスポーツへの関心を高めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技力の向上、競技人口の拡大に取組む飯田市スポーツ協会の運営を支援し、民間スポーツクラブ等とも連携して各種スポーツ教室の開催、一流のプレーに触れるゲーム観戦などの機会を提供します。 ・また、指導者の資格取得など競技団体の活動や指導者の確保・育成の取組みを支援します。 ・全国や県の大会での地元選手の活躍を激励し、ホームページ等で広く市民に発信していきます。

アクションプログラム⑥ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実

- (1) 民間スポーツクラブ、地域のスポーツクラブに加え、全市型競技別スポーツスクールを実施し、中学生期のスポーツの選択肢を充実します。
- (2) 中学校の部活動の在り方については、取組状況や実態を把握するとともに、生徒・保護者・教職員・指導者ら関係者の意見を踏まえ、必要に応じて指針の見直しを行います。

事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の取組方針
競技力向上支援事業	生涯学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市スポーツ協会と連携して、中学生が様々な種目に触れる体験スクールと、技能を高める競技力向上スクールを実施することで、中学生期のスポーツ活動の充実に取組みました。 ・中学校部活動のあり方について、校長会を中心に指針の見直しを行うとともに、生徒の健康と主体性を大切に「冬季ジブン・チャレンジ期間」を11月～2月に位置づけ、全中学校で取組みました。 ・9月に筑波大学アスレチックデパートメントと協定を結び、新しい学校スポーツプログラムの研究に着手し、冬季ジブン・チャレンジ期間の過ごし方への指導をいただくとともに、学校教員や地域のスポーツ指導者を対象とした研修会を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間や地域のスポーツクラブに加え、全市型競技別スポーツスクールを開催し、指導体制を含めた地域におけるスポーツ環境の充実に取組みます。 ・筑波大学アスレチックデパートメントと連携して、子どもの心身の健康に配慮したスポーツ活動の実現に向けて、部活動の活動運営の指針づくりとそれに基づく実践研究を進め、中学生期の適正なスポーツ環境の充実に取組みます。 ・中学校の部活動については、見直しをした指針に基づき取組みます。

アクションプログラム⑦ スポーツ施設の整備、サービス向上			
(1)	市民がスポーツ施設を安全で快適に利用できるために、計画的に改修工事を進めます。また、グラウンドの芝生化についての検討を進めます。		
(2)	オンラインで正式な予約手続きと許可書の発行が完結できるシステムの導入を進めます。		
事務事業名	主管課	令和3年度の成果及び課題	令和4年度の実行方針
体育施設等維持管理・整備事業	生涯学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が安全安心で快適に利用できるよう、トイレの洋式化、照明機器修繕等を計画的に実施しました。また、競技団体からの要望を中心に施設修繕工事等を進めました。 ・グラウンドの芝生化については、競技団体との検討・モデル化を推進しました。 ・オンライン予約システムの早期運用開始と今後の効果的運用を目指し、関係部署と連携し進めてきました。いづれも、計画的・継続的に進めていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の日常点検及び専門的な点検を行い、安全で快適に利用できるよう必要な改修・修繕を行います。また、計画に基づき、トイレの改修、鼎体育館屋根改修、照明のLED化等を進めます。 ・グラウンドの芝生化について、継続的に競技団体等と検討を進めます。 ・利用者の利便性の向上、事務の効率化を図るため、施設のオンライン予約システムを構築し、運用を開始します。

令和4年度 社会教育関係団体へ交付を予定する補助金

補助金名	補助の目的	交付団体	補助金見込額 (円)	担当課
理科実験ミュージアム運営事業補助金	科学実験を通して、科学や理科の楽しさ・不思議さを学ぶことで、興味・関心を持てるようになる人材の育成	南信州飯田おもしろ科学工房	1,050,000	生涯学習・スポーツ課
文化財保護事業費補助金	霜月祭の後継者育成	上村遠山霜月祭保存会 遠山霜月祭保存会	560,000	文化財保護活用課
歴史研究活動助成金	歴史研究活動を行う人材の育成	公募を行い交付対象とする、歴史研究活動を行う団体又は個人	100,000	歴史研究所
伊那谷の自然と文化研究事業補助金	伊那谷の民俗や芸能等に関する調査研究事業への補助	公募を行い交付対象とする、市内在住の個人又は市内に事務局を置く団体 R3補助団体 柳田國男記念伊那民俗学研究所 伊那谷自然友の会 伊那谷研究団体協議会	400,000	美術博物館
	伊那谷の自然環境に関する学習および調査研究保全事業への補助			
	伊那谷学の推進および学術文化研究事業への補助			
飯田市伝統人形芝居振興事業補助金	指定文化財の伝承者の養成及び公開のために必要な事業に対する補助金	今田人形座	532,000	文化会館
飯田市伝統人形芝居振興事業補助金	指定文化財の伝承者の養成及び公開のために必要な事業に対する補助金	黒田人形保存会	532,000	文化会館
市民舞台芸術創造支援事業補助金	市民の生き生きとした暮らしと、世代を越えた感動と共感のある豊かな暮らしをつくるために、舞台芸術に関わる市民が、ともに繋がり、刺激しあいながら取り組む技術向上事業と創造事業を支援	(市民舞台芸術創造支援事業) 令和4年度に補助金交付申請を行い交付対象とする団体(今後募集予定)	970,000	文化会館